

令和 6年 9月 9日

報道機関 各位

青森県健康医療福祉部高齢福祉保険課

令和6年度「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」について

高齢社会対策の推進につきましては、日頃から御高配をいただき厚くお礼申し上げます。さて、内閣府においては、年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送る高齢者や社会参加活動を積極的に行っている高齢者の団体等を毎年広く紹介しており、この度、本県から下記のとおり紹介事例が決定されました。

つきましては、広く県民の高齢期における生き方の参考に供するため、取材・報道して下さるようお願いいたします。

記

1 紹介事例

エイジレス・ライフ実践事例（決定者（県（中核市を除く）推薦分）

※ 年齢は令和6年4月1日現在

氏名	住所地	活動内容	推薦者
にがわら せつこ 二川原 節子 (92歳)	大鰐町	昭和63年に青森県食生活改善推進員資格を取得し、大鰐町食生活改善推進員会を発足し会長となる。乳幼児検診時の栄養士指導による離乳食作りや地場産品を使った手作りおやつを試食会等を実施するほか、小学生を対象としたおやこ食育教室、男性向け料理教室、小学校野球部への料理の差し入れ、健康フェスティバルでの栄養相談等、幅広いボランティア活動を精力的に行っている。 現在は名誉会員となり、92歳に至る現在も保健所や行政と連携をとりながら36年に渡り活動を続けている。同時に大鰐町からの声掛けにより、放課後児童クラブで年中行事補助業務を行っているほか、茶道を習った経験を活かし、地域の納涼祭などの年中行事でお茶席を設け提供する等、様々な社会活動に取り組み、地域に貢献し続けている。	青森県 長寿社 会振興 センタ ー

2 書状等の授与について

後日、下記問合せ先（推薦者）を通して、決定者に対し書状等が伝達される予定です。

【本紹介事例に関する取材・報道に係る問合せ先】

青森県長寿社会振興センター 電話 017-777-6311

報道機関提供資料	
担当課 担当者	健康医療福祉部 高齢福祉保険課 高齢者支援グループ GM 奈良 安祈子、主幹 東 正大
電話番号	直通 017-734-9296 内線 6281、6282
報道監	健康医療福祉部 次長 工藤 康成 (内6201)

内閣府「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」の取材・報道関係対応資料

1 エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例の募集について

内閣府においては、エイジレス・ライフ（年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送ること）を実践している高齢者や、地域で社会参加活動を積極的に行っている高齢者のグループを広く紹介し、既に高齢期を迎え、又はこれから迎えようとする世代の高齢期における生活の参考としてもらうために、これら活動事例の募集と公表を行っています。

2 募集する活動事例について

(1) エイジレス・ライフ実践者

現にエイジレス・ライフを実践している者（概ね65歳以上）であって、広く全国に紹介するに足ると認められるものとされています。

(2) 社会参加活動

主体的に社会と関わりを持ち、積極的な社会参加活動を通じ、生き生きと充実した生活を送っているグループ、団体などであって、高齢社会における高齢者の社会参加活動として広く全国に紹介するに足ると認められるもの（地域を基盤として、又は職域若しくは広域で行われるものであって、概ね65歳以上の者で構成されるもの）とされています。

3 紹介事例の推薦及び決定等について

内閣府において、都道府県や中核市並びに高齢者関係団体から推薦のあった事例について、選考委員会（委員長：有馬 廣實（拓殖大学名誉教授））から意見を聴取の上、決定することとされています。

決定した事例（個人・団体）に対しては、書状と記念の楯が授与されこととなっています。

決定した事例については、内閣府が国民に広報を行うこととされており、令和6年度の推薦及び決定状況については、内閣府ホームページに掲載されています。

（令和6年度は、全国では、49個人、29団体が本年度のエイジレス・ライフ事例として選定されています。）

〔内閣府ホームページ https://www8.cao.go.jp/kourei/kou-kei/age_list_all.htm〕

4 青森県におけるこれまでの推薦及び決定状況について

県では、市町村や関係団体（青森県長寿社会振興センター等）から推薦のあった事例について、内閣府へ推薦しています。（中核市（青森市及び八戸市）は、直接内閣府へ推薦することとなっています。）

本県におけるこれまでの推薦及び決定状況は、別添のとおりです。

<参考>内閣府「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」 本県関係の推薦及び決定状況

1 エイジレス・ライフ実践者〔個人〕

年度	推薦数	決定数	決定者（受章者）	（居住地）	主な活動内容
H22	2〔1〕	1〔0〕	渡辺 やす	三沢市	ダンスサークル活動
H23	1〔0〕	1〔0〕	白取 悦子	青森市	卓球、茶道教室開催等を通じた地域交流活動
H24	2〔0〕	1〔0〕	山口 吾一郎	むつ市	創意工夫による田舎暮らしの実践活動
H25	1〔0〕	1〔0〕	本間 操	弘前市	ウォーキング活動及びボランティア活動等
H26	1〔0〕	1〔0〕	木村 ムツ	三沢市	太極拳を通じた健康づくり活動
H27	1〔0〕	1〔0〕	荒川 麗子	野辺地町	ダンスサークル活動
H28	2〔0〕	2〔0〕	石川 とみゑ	六ヶ所村	デイサービスセンターでのボランティア活動
			佐藤 ツリ	平川市	「昔こ＝昔話」の語り手としての活動
H29	2〔0〕	1〔0〕	武田 茂	六戸町	「押し花」制作を通じた地域交流活動等
H30	3〔2〕	3〔2〕	柴田 百代	青森市	茶道教室を通じた地域交流活動
R 1	1〔0〕	1〔0〕	風晴 貢	青森市	ねぶたボランティアガイド
R 2	1〔0〕	1〔0〕	白川 登	青森市	金魚ねぶた等の制作を通じた地域交流活動
R 3	3〔1〕	2〔1〕	岩本 良二	青森市	災害救助活動（災害救助犬ハンドラー）
			渡邊 勇	青森市	老人クラブでの活動を通じた健康づくり活動や地域交流活動等
R 4	0〔0〕	0	（被推薦者なし）		—
R 5	1〔0〕	1〔0〕	清野 正雄	三沢市	能面の普及活動
	—	—	千葉 良雄	むつ市	ボーイスカウト活動
R 6	1〔0〕	1〔0〕	二川原 節子	大鱗町	食生活改善推進員としてのボランティア活動

※〔 〕内は、中核市推薦分の内数

2 社会参加活動事例〔団体〕

年度	推薦数	決定数	決定者（受章者）	（所在地）	活動内容
H22	2〔0〕	1〔0〕	上新町健遊会	おいらせ町	認知症予防推進・普及活動
H23	1〔1〕	1〔1〕	サークル虹の会	青森市	地域行事への参加や協力、小・中学校との交流 など
H24	0	0	（被推薦者なし）		—
H25	4〔0〕	3〔0〕	エコフレンズ	弘前市	子育て支援・リサイクル活動
			よこはまホテル村	横浜町	ホテルの保護を通じた環境運動・世代間交流等
			名川Uクラブ	南部町	ウォーキングやグラウンドゴルフ等、健康づくり
H26	0	0	（被推薦者なし）		—
H27	0	0	（被推薦者なし）		—
H28	0	0	（被推薦者なし）		—
H29	0	0	（被推薦者なし）		—
H30	9〔8〕	5〔4〕	めんだりカッチャの会	中泊町	福祉ボランティア、リサイクル活動
			細野相沢冬物語実行委員会	青森市	地域づくり
			新田城まつり運営委員会	八戸市	ふるさとづくり、地域づくり
			八戸婦人ボランティア「いちいの会」	八戸市	介護予防、健康イベント等に関するボランティア活動
			島守田園空間博物館運営協議会	八戸市	地域資源や伝統文化を活用した地域づくり
R 1	0	0	（被推薦者なし）		—
R 2	0	0	（被推薦者なし）		—
R 3	0	0	（被推薦者なし）		—
R 4	0	0	むつ市生活介護サポーター連絡協議会「りんどうの会」	むつ市	健康増進、生きがいづくり
R 5	0	0	（被推薦者なし）		—
	—	—	むつ・下北地区レクリエーション協会	むつ市	レクリエーション活動
R 6	1〔1〕	1〔1〕	油川駅応援実行委員会	青森市	清掃奉仕や環境美化に係るボランティア活動